まちづくりワークショップ
～未来のやまだを考えよう～

令和６年12月19日

次第

１　開　会

２　本日の趣旨説明

３　アイスブレイク

４　ワークショップ

５　発表・共有

６　閉　会

７　集合写真撮影

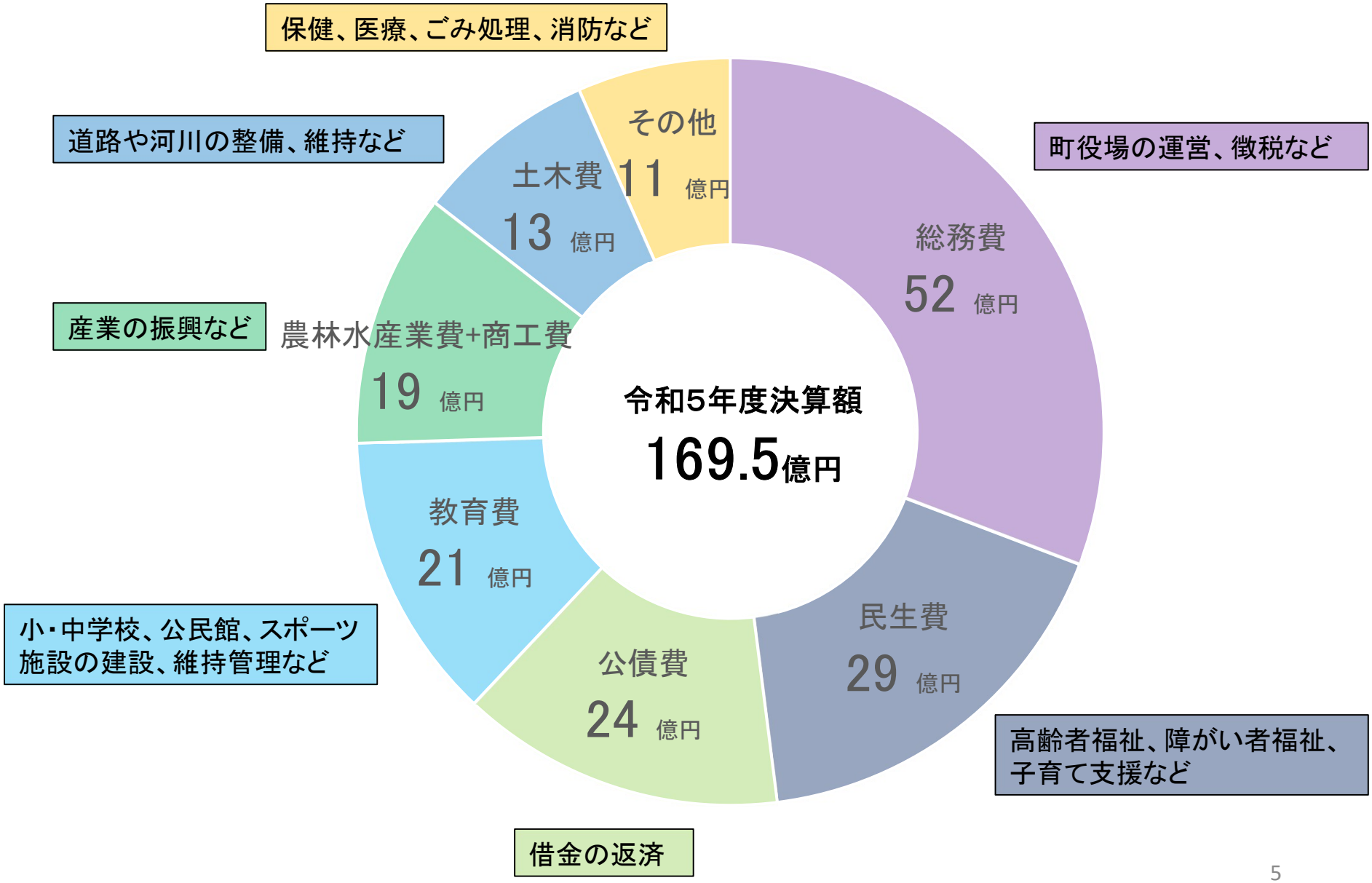
１　開　会

２　本日の趣旨説明

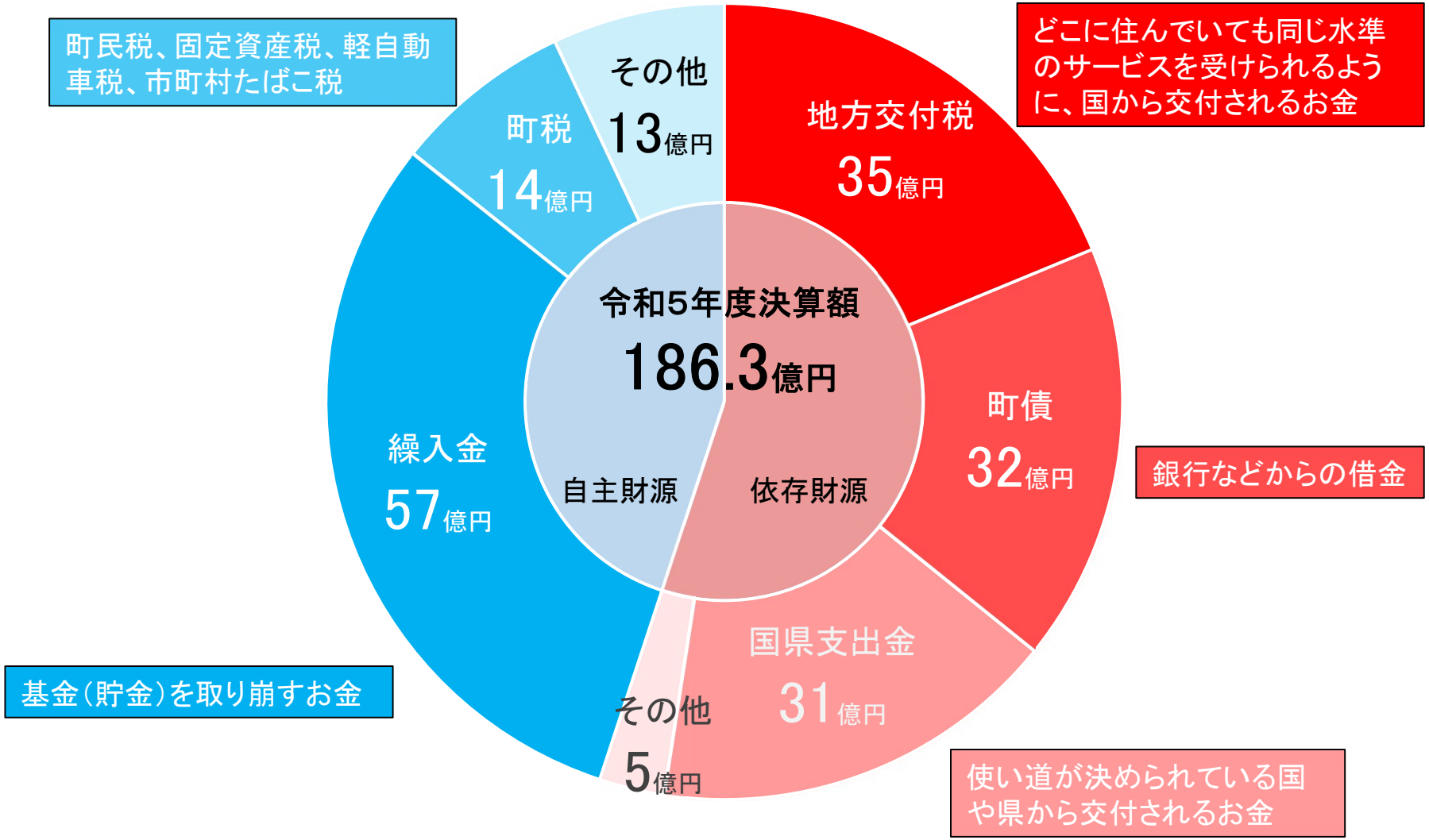
□ 山田町の現状

□ 山田町総合計画

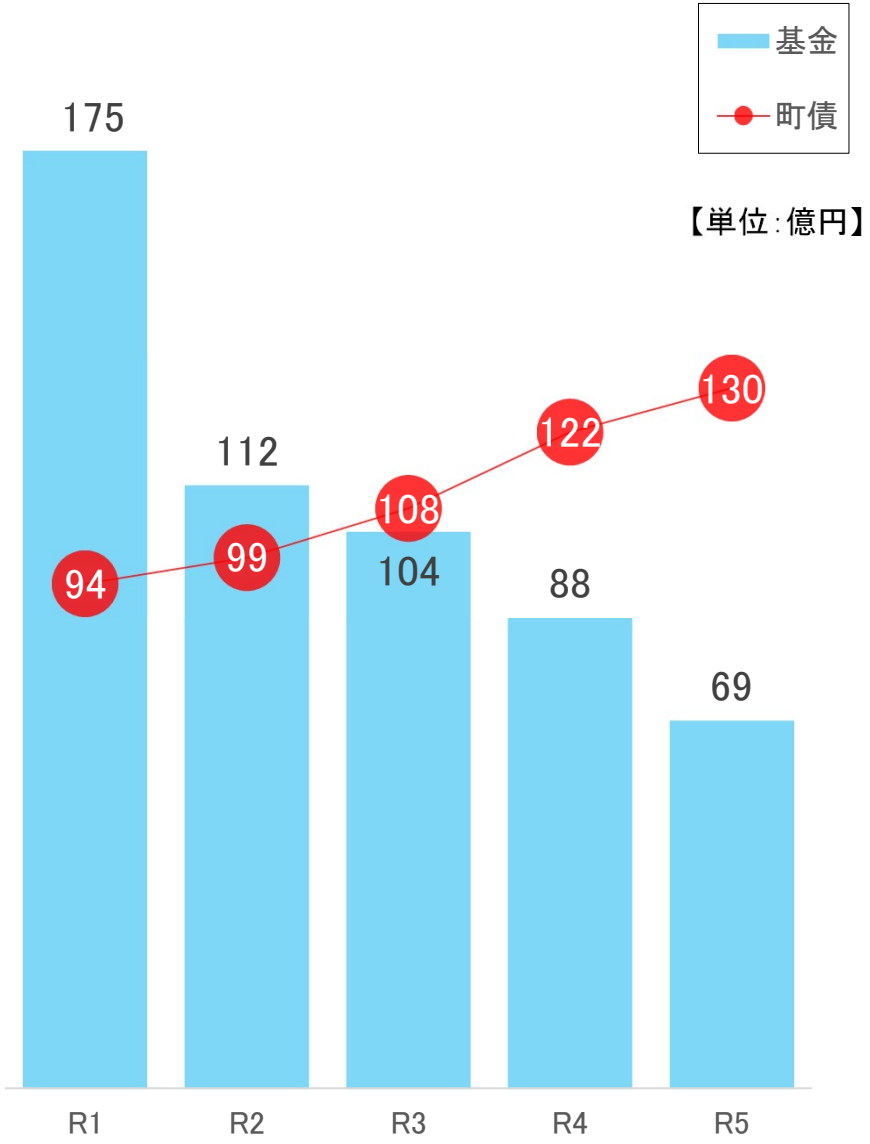
山田町の税金の使い道


保健、医療、ごみ処理、消防など
その他
11 億円
道路や河川の整備、維持など
土木費
13 億円
町役場の運営、徴税など
総務費
52 億円
産業の振興など
農林水産業費+商工費
19 億円
令和5年度決算額
169.5億円
教育費
21 億円
小・中学校、公民館、スポーツ施設の建設、維持管理など
民生費
29 億円
公債費
24 億円
高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援など
借金の返済

山田町の税収の内訳


町民税、固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税
どこに住んでいても同じ水準のサービスを受けられるように、国から交付されるお金
銀行などからの借金
使い道が決められている国や県から交付されるお金
基金（貯金）を取り崩すお金
令和5年度決算額
186.3億円
自主財源
依存財源
その他
13億円
町税
14億円
地方交付税
35億円
町債
32億円
国県支出金
31億円
その他
5億円
繰入金
57億円

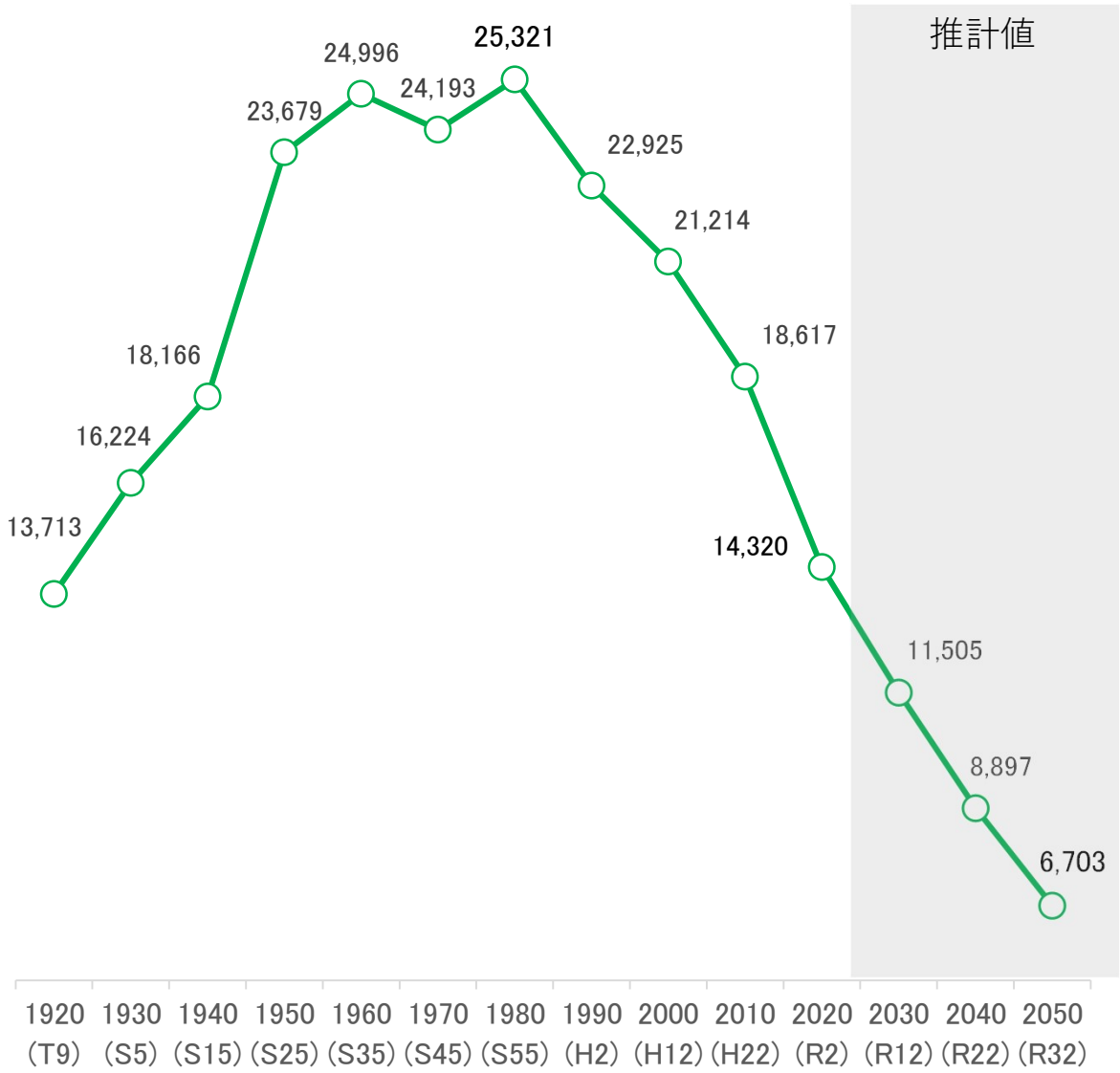
山田町の貯金と借金



基金（貯金）が減少

町債（借金）が増加

山田町の人口



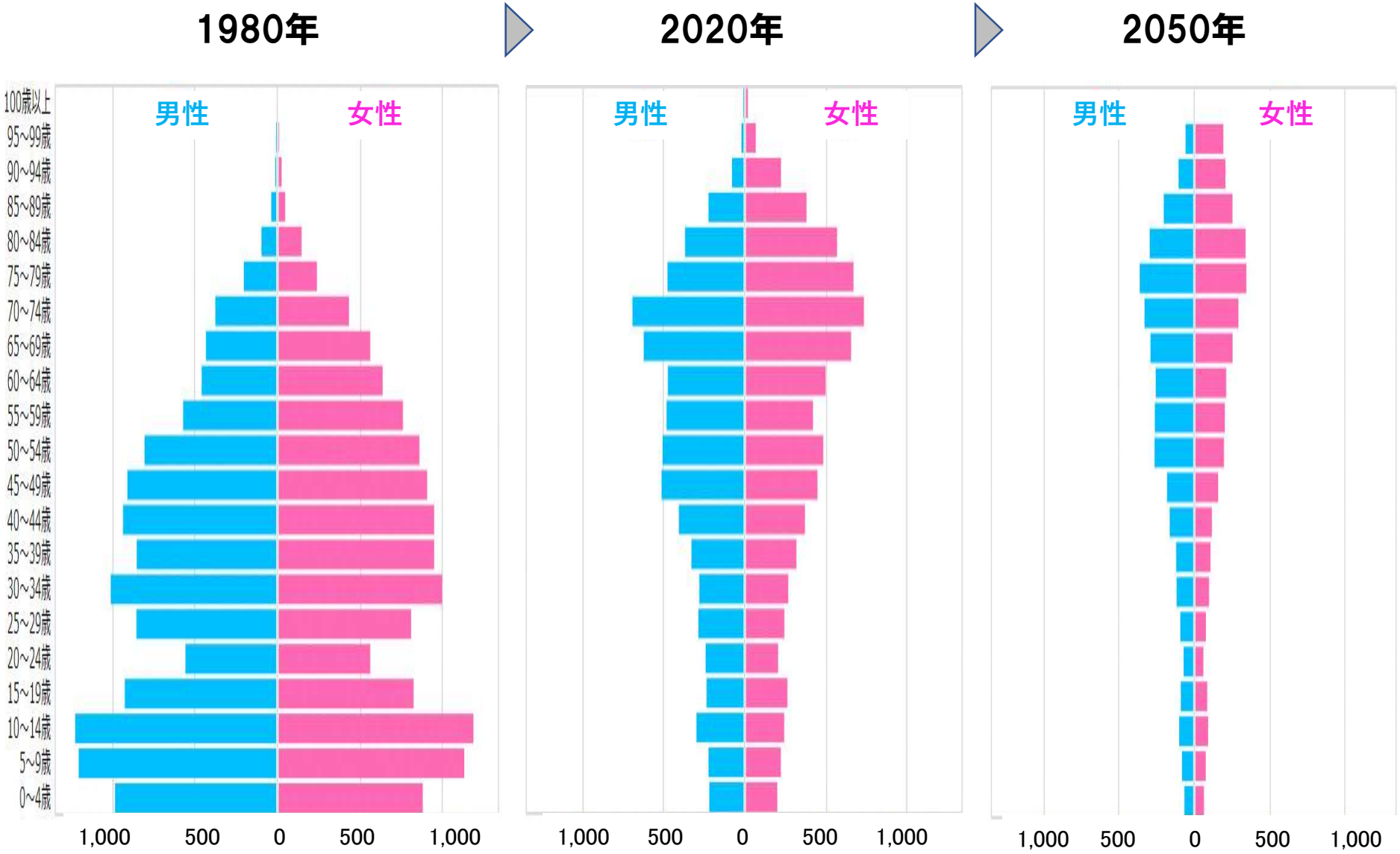
25,321人（1980年）

13,131人（2024年）

6,703人（2050年）

【出典：国勢調査（総務省統計局）、日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)（国立社会保障・人口問題研究所）】

山田町の人口構造



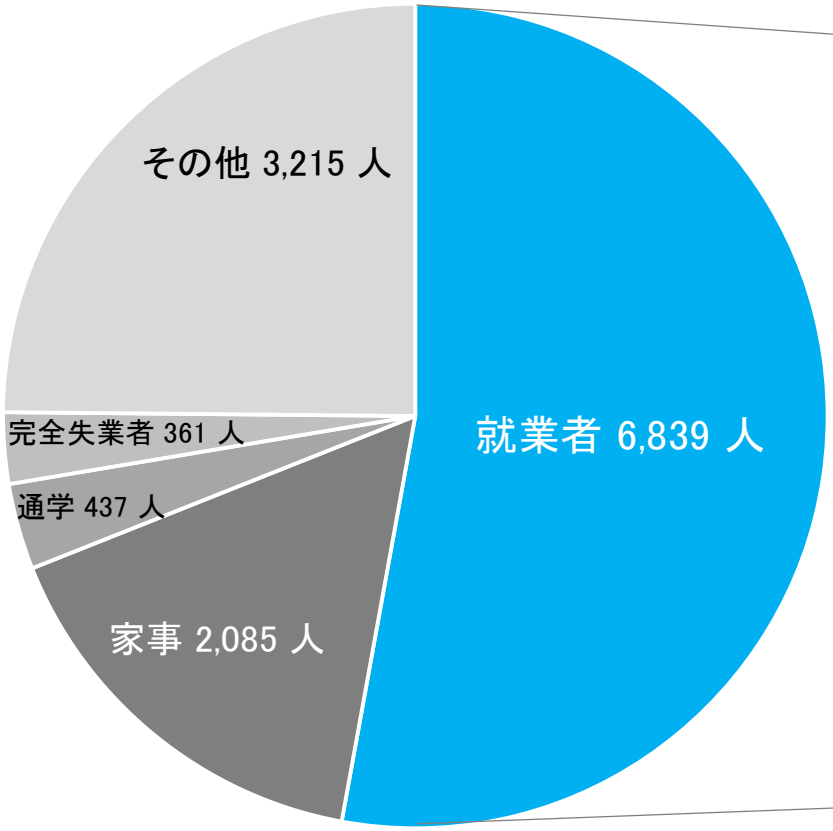
【出典：国勢調査（総務省統計局）、日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)（国立社会保障・人口問題研究所）】

人口減少・少子高齢化による課題①

労働力不足
需要の縮小

経済規模・活力の低下

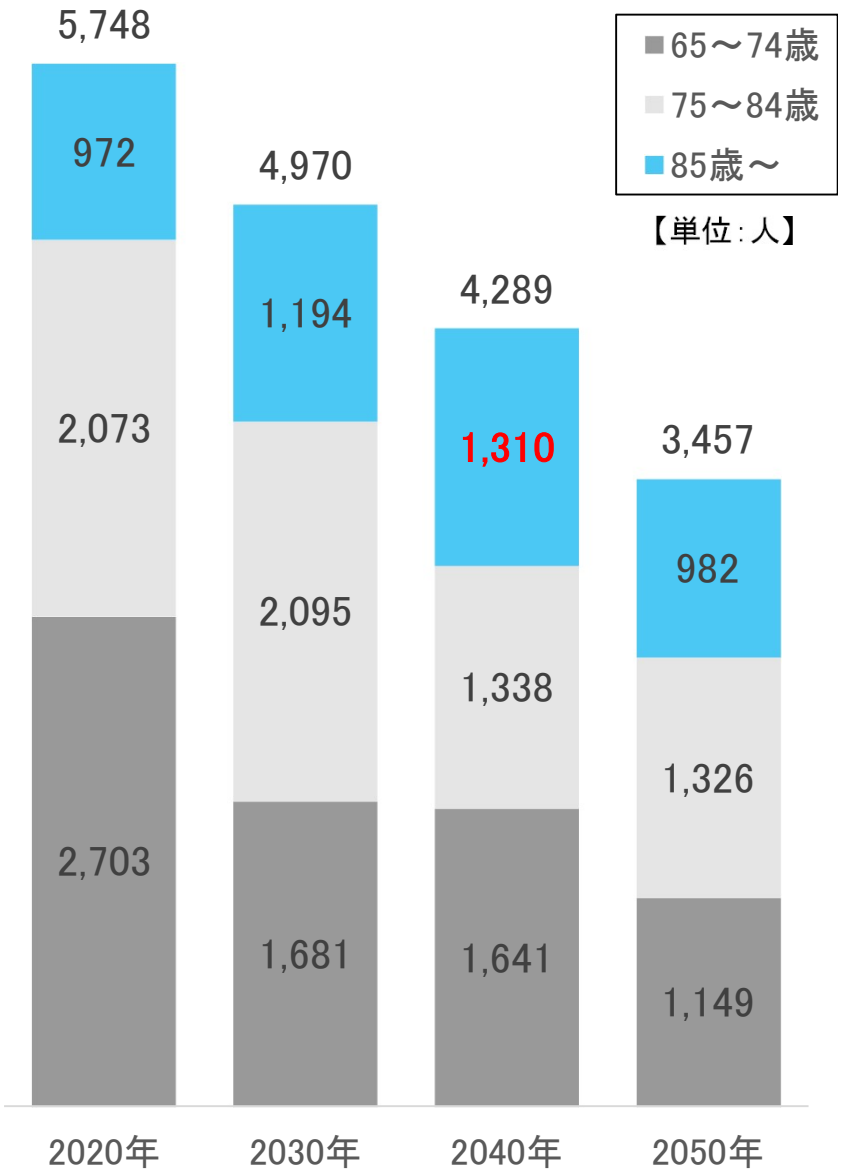
町民の就業状況



産業別就業者数

【出典：令和２年国勢調査（総務省統計局）】

人口減少・少子高齢化による課題②



高齢者の増

＋

労働力不足

▼

供給不足

【出典：日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)（国立社会保障・人口問題研究所）】

人口減少・少子高齢化による課題③

空家の増 ▶ 弊害

防災　防犯

衛生　景観

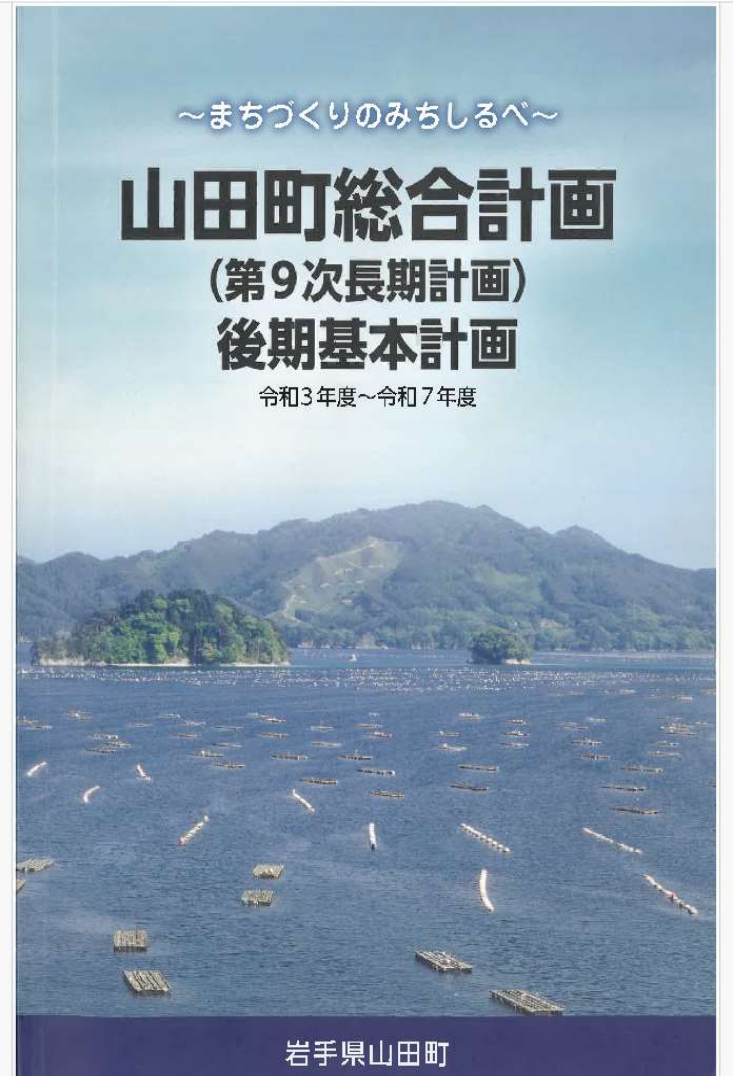
	平成29年度	令和5年度	増減戸数	増減率
住宅戸数	5，061戸	5，463戸	402戸増	7．94%
空家戸数	379戸	604戸	225戸増	59．36%
空家割合	7．48%	11．05%	―	3．57%

【出典：令和６年度第１回山田町空家等対策推進協議会資料】

□ 山田町の現状

□ 山田町総合計画

総合計画とは？



どのようなまちを目指し

どんなことに重点を置くか

どんなことにお金を使っていくか

これまでの主な取組み①

新道の駅やまだ「おいすた」

山田小学校新校舎

これまでの主な取組み②

小中学校給食の無償化

魚類養殖への支援

町民の意見を反映させるため①

新しい「山田町総合計画策定」のための アンケート調査ご協力のお願い

日頃より山田町政へのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
山田町では、町民の皆様に、町の現状やまちづくりの取り組みに対する満足度などの意見をお伺いするために、アンケート調査を実施いたします。
この調査の結果は、町政運営の指針となる新しい山田町総合計画に反映させます。「山田町に住んでいて本当に良かった、これからも山田町に住み続けたい」と思っていただけるまちづくりを皆様と実現していくため、このアンケートに回答いただけますと幸いです。
調査の趣旨をご理解いただき、本調査へのご協力をお願いいたします。

令和６年８月
山田町長　佐藤信逸

【ご回答にあたって】

- 回答方法は、アンケート調査票に直接お書きいただき同封の返信用封筒により郵送いただくか、右の二次元コードよりご回答ください。
- 無記名式ですので、お名前を記入する必要はありません。
- ８月２０日（火）までに、ご回答をお願いいたします。

■回答用二次元コード

-1-

2.「ともに支えともに生きる地域福祉の実現」

～本町における取り組みの方向性～

	満足度					重要度				
	とても満足	まあ満足	どちらともいえない	少し不満	とても不満	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
Q2-1　地域福祉体制の充実・強化										
▶高齢者、障がい者、児童、生活困窮者等の分野を超えた横断的な相談支援体制の構築を図っています。 ▶災害時の避難支援体制づくりのため、避難行動要支援者名簿の作成に取り組んでいます。 ▶福祉に関する各種広報活動を行い、制度や事業の周知を図っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Q2-2　高齢者福祉の充実										
▶住民主体の介護予防活動の推進、ボランティアの養成や地域での支えあい活動の推進に努めています。 ▶認知症サポーター養成講座の開催など、認知症の人やその家族の支援に取り組んでいます。 ▶要介護者等へのおむつ給付や、補聴器購入費用に対する補助を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Q2-3　障がい者福祉の充実										
▶障がい者が必要な支援を受けられるよう、福祉サービスの充実に取り組んでいます。 ▶障がいに関する制度や事業の周知を行っています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

3.「地域全体で子育てを支援する社会の形成」

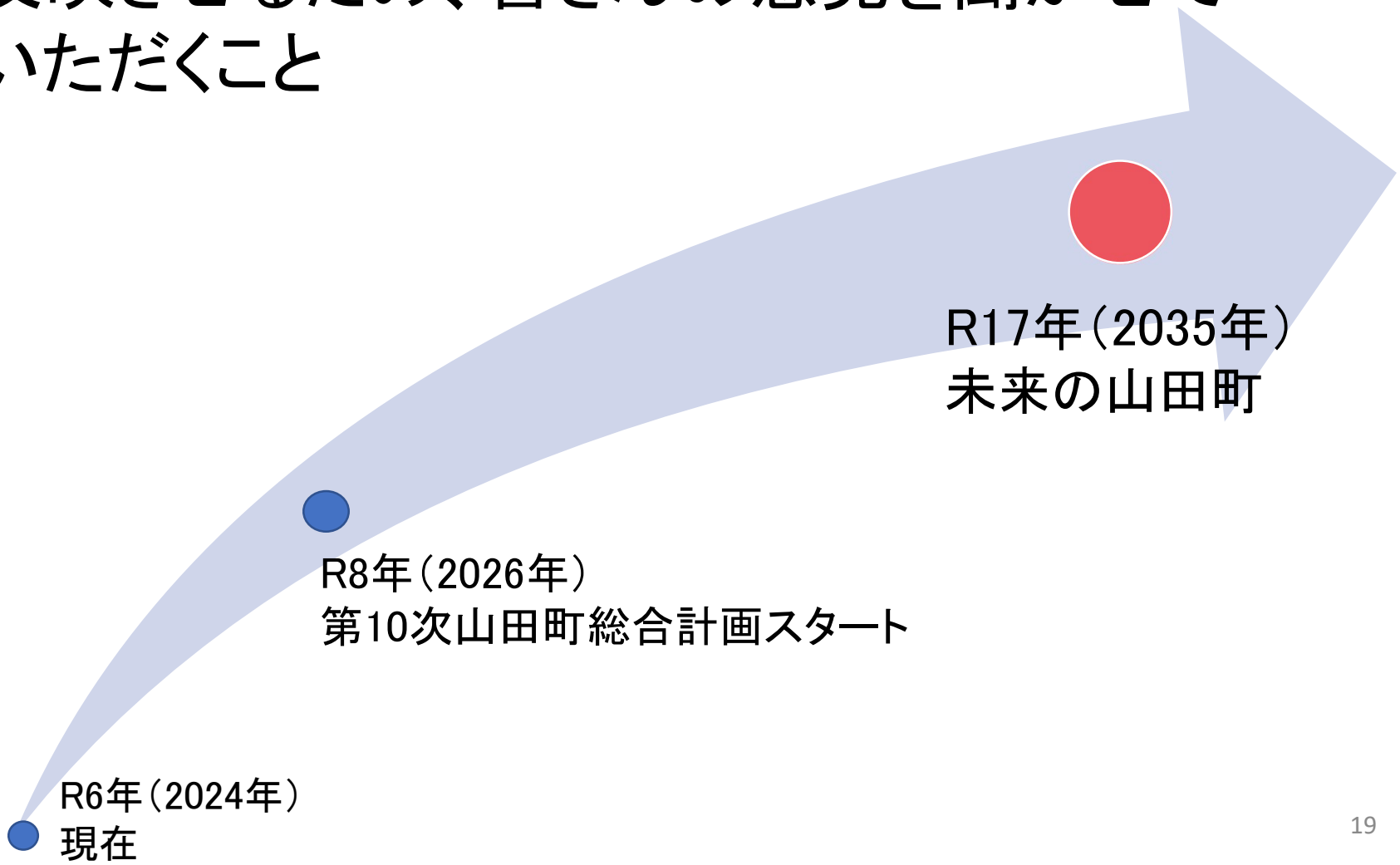
～本町における取り組みの方向性～

	満足度					重要度				
	とても満足	まあ満足	どちらともいえない	少し不満	とても不満	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
Q3-1　子育て支援の充実										
▶保育料、18 歳以下の子どもの医療費、学校給食費を無償化しています。 ▶保育所等を利用せず在宅で育児を行っている世帯に対し、支援金を給付しています。 ▶不妊治療費の自己負担額を全額助成しています。 ▶妊産婦健診等の通院費を助成しています。 ▶妊娠届・出生届後に給付金を支給しています。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

町民の意見を反映させるため②

本日のワークショップの目的

新しい総合計画に町民の将来に対する想いを反映させるため、皆さんの意見を聞かせていただくこと



３　アイスブレイク

自己紹介

１人あたり30秒程度でお願いします。

- お名前
- 小さな自慢話
  （最近ちょっと頑張ったこと、自分の得意なこと）
- 山田町の好きなところ

共通点探しゲーム

●制限時間は２分間。

●グループ内で質問をしあって、お互いの共通点を見つけてください。
（例：趣味、好きな食べ物、学生時代の部活動）

●共通点をメモしてください。

４　ワークショップ

テーブル毎の分野

A（健康、福祉）
健康づくり、医療、
福祉サービスなど

D（自治、協働、交流）
地域コミュニティ、市民協働、
移住など

B（自然、生活環境）
景観、生活のしやすさ、安全
安心なくらしなど

E（教育、子育て）
教育、生涯学習、スポーツ、
文化芸術、子育てなど

C（産業、経済）
水産、農林、商工、観光、
雇用など

ワークショップの流れ

第１ラウンド（20分）

メンバーチェンジ！

情報共有役を残して、くじ引きで引いたテーブルへ移動。

第２ラウンド（20分）

メンバーチェンジ！

情報共有役を残して、関心のあるテーブルへ移動。

休憩（１０分）

第３ラウンド（30分）

発表・共有（20分）

地域おこし協力隊

【地域活性化】

【ジオパーク】

【ジオパーク】

【観光町づくり】

【健康づくり】

話し合っていただくテーマ

山田町の現状
（良いところ・課題）

こんな取り組みがあるといいかも！？
自分たちもこんなことができるかも！？

こんなまちになってほしい
こんなまちにしたい

模造紙の使い方

山田町の現状 （良いところ・課題）	こんな取り組みがあるといいかも！？ 自分たちもこんなことができるかも！？	こんなまちになってほしい こんなまちにしたい

意見は付箋に書いて、模造紙に貼ってください。
※1つの付箋に1つの意見。

似た意見は近くに貼ってください。

病院が少ない

オンライン診療システムの導入

アプリでの通院予約

みんなが健康な町

お年寄りが元気なまち

健康寿命全国一番の町

介護職のなり手が少ない

安心して医療・福祉サービスを受けられる町

運動教室や栄養指導がある

運動サークルの立ち上げ

基本ルール

●自由な発想を大切に

正解や実現可能性を考えず、自由なアイデアをどんどん出してください。「こんなこと無理かな？」と思うような発想も大歓迎です。

●否定しない

他の人のアイデアを否定したり批評したりせず、受け入れてください。

●質より量が大切

同じようなアイデアであっても構いませんので、多くの意見を出すことを目指してください。

●他の人の意見をヒントにする

他の人の意見を聞いて「それに似たこんな案もある」「そこからこんなことも考えられる」と、新しい発想につなげてください。

□ 第1ラウンド

●意見出し（付箋に書く）

●意見交換（模造紙に付箋を貼りながら）

□ 席替え（１回目）

●席替えカードをひく

●カードに書いてあるテーブルに移動

□ 第2ラウンド

●自己紹介

●１ラウンドの意見共有

●意見出し（付箋に書く）

●意見交換（模造紙に付箋を貼りながら）

□ 席替え（２回目）

●関心のあるテーブルに移動

１テーブル２人以下とならないように、
ご協力いただけると幸いです。

□ 第3ラウンド

●自己紹介

●１・２ラウンドの意見共有

●意見出し（付箋に書く）

●意見交換（模造紙に付箋を貼りながら）

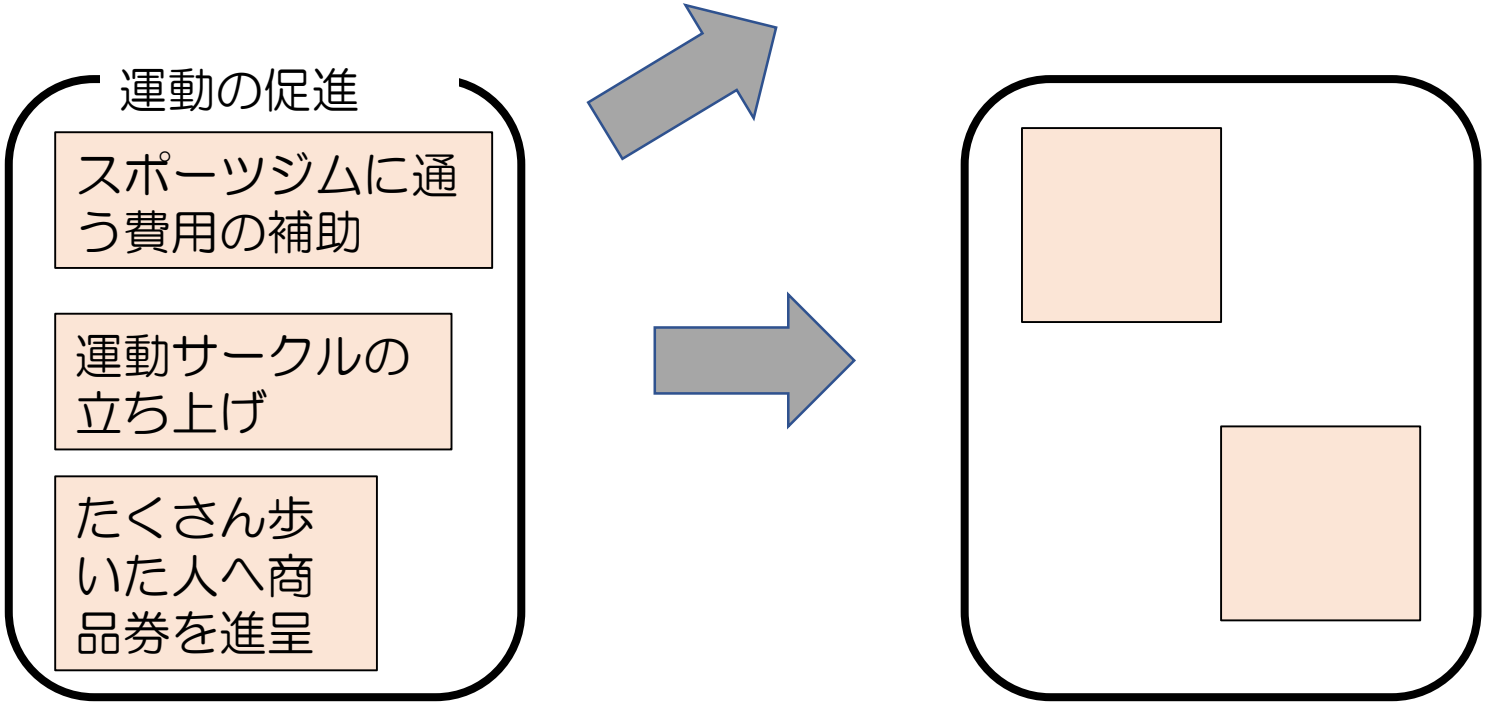
●意見のまとめ

１テーブル２分程度で発表をしてもらいます。テーブル毎に発表者を決めてください。

発表について

●結論の発表ではありません

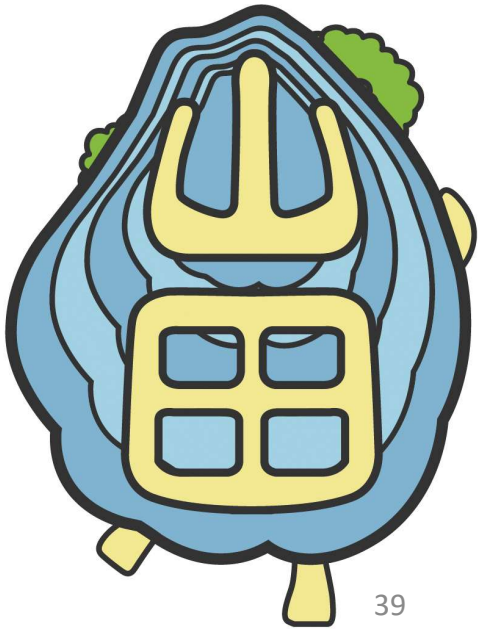
　結論を出すことではなく、参加者の皆さんの様々な意見や考え方を共有することが目的です。「こんな意見が出ました」「こんな視点がありました」といった具合に、発表できるようにまとめをお願いします。



５　発表・共有

６　閉　会

7　集合写真撮影

さいごに…

アンケートへのご協力をお願いします。